

JOSE LUIS CORDEIRO

Chairman Venezuelan Node, Millennium Project

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Economics
- Globalisation
- Technology

José Luis Cordeiroは、大きな未知の世界にある私たちの小さな惑星の中の世界市民です。彼はヨーロッパの両親からラテンアメリカで生まれ、ヨーロッパと北アメリカで教育を受け、そしてアフリカ、アジア、ヨーロッパ、アメリカで広範囲に働いてきました。彼は5大陸130カ国以上で学び、訪問し、そして働いてきました。

Cordeiro氏は、マサチューセッツ工科大学(MIT)から機械工学の理学士号と修士号を取得しました。その後、米国ワシントン州のジョージタウン大学で国際経済学と比較政治学を学び、その後、フランスのフォンテンブローにあるInstitut Européen d'Administration des Affaires(INSEAD)で経営学修士号を取得し、財務とグローバリゼーションを専攻しました。彼はMITで博士号を取得し、後に日本の東京で継続し、ついにベネズエラのカラカスのUniversidad Simón Bolívarで博士号を取得しました。

数年にわたり Cordeiro 氏

は、Agip、BP、ChevronTexaco、ExxonMobil、PDVSA、Pemex、Petrobras、Repsol、Shell、Totalなど、世界の主要な石油会社の多くのアドバイザーを務めました。その後、パリで、彼は国際的なコンサルティング会社であるBooz-Allen & Hamiltonとの関係を始めました。そこで、彼は戦略、財務および再構築の分野を専門としました。ラテンアメリカでは、彼はいくつかの最も重要な地方企業の顧問を務め、大陸の多くの石油会社の変革と民営化に参加しました。彼の金融政策、通貨ボード、ドル化、および通貨同盟に関する経験と研究のおかげで、ラテンアメリカと東ヨーロッパでのいくつかの通貨の変化に参加できました。

現在、彼はミレニアムプロジェクトのベネズエラノード、東京のアジア経済研究所客員研究員、そして米国シリコンバレーのNASAエイムズにある特異点大学のエネルギーアドバイザーおよびファカルティを務めています。アメリカのMITや日本の上智大学から行政高等研究所、ベネズエラ中央大学まで、いくつかの主要機関で招待教授として講義をし、そこで最初の正式な未来学コースを作成しました。ベネズエラのオーストリア経済学院。

Cordeiro氏は、World Future Societyベネズエラ支部Sociedad Mundial del Futuro Venezuelaの創設者であり、社長でもあります。また、シングルグローバル通貨協会とライフポート財団のディレクターであり、ベネズエラ人類学協会とインターネット協会の共同創設者です。彼はまた、責任あるナノテクノロジーセンターの理事会顧問であり、経済知識普及センターの学術委員会のメンバーでもあります。

技術的先見性、先物研究、グローバリゼーション、経済統合、長期的発展、エネルギー、教育、そして金融政策における彼の広範な研究のおかげで Cordeiro氏は数冊の本を執筆および共著しました。彼の最初の本であるEl Desafío Latinoamericanoは、もともとMcGraw-Hillによって出版された大陸のベストセラーで、半球の100以上の大学で使われています。彼の最も最近の本は危機である：ミレニアムプロジェクトでのスペインの経済学者Ramón TamamesとLatinoamérica 2030との(金融)危険と(金銭的)機会。ミ

レニウムプロジェクトとの未来の状態のセクションを含む、5カ国語で10冊以上の本を書き、さらに20冊以上を共同で書いた。

Cordeiro氏は最大かつ最も権威のあるベネズエラの一般紙El Universalに隔週意見欄を持ち、ABC、BBC、CNN、El Comercio、エクアドル）を含む主要メディア（新聞、ラジオ、テレビ）でも執筆およびインタビューを受けました。El Comercio、ペル、El Tiempo、コロンビア、El Universal、ベネズエラ、Los Andes、アルゼンチン、O Estado de Sao Paulo、ブラジル）、毎日新聞、Japan Daily News、La Tribune、フランス）、ニューヨーク・タイムズ。彼はまた、ディスカバリーチャンネルとヒストリーチャンネルでドキュメンタリーを撮影しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988